

# バンク・マンディリ(BMRI)

住宅ローン・自動車ローンに加え、特に個人向け融資とマイクロクレジット(KSM)の組み合わせローンに期待  
インドネシア | 銀行 | 業績フォロー

## フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG BMRI:IJ | REUTERS BMRI:JK

- 2018/12通期(1-12月)は、純金利収益が前期比4.9%増の54兆6,220億IDR、非金利収益が同20.6%増の28兆4,430億IDRと堅調だった。
- 貸出残高は同12.8%増の820兆840億IDR。リテール向けのマイクロクレジット、自動車ローン、クレジットカード、住宅ローン、オンライン融資、モバイルバンキングが伸長した。
- 住宅ローン、自動車ローン、および個人向けローンとKSMマイクロクレジット組み合わせのサービスが今後の成長分野。

### What is the news ?

2018/12 通期(1-12月)は、純金利収益が前期比 4.9%増の 54 兆 6,220 億 IDR、非金利収益が同 20.6%増の 28 兆 4,430 億 IDR、営業利益は同 24.8%増の 33 兆 9,060 億 IDR、純利益が同 21.2%増の 25 兆 150 億 IDR となった。営業費用の対総営業収益比率は前期の 45.6%から 44.4%へ改善、税引後ベースの ROE は前期の 12.9%から 14.4%に上昇した。大企業向け事業は、キャッシュマネジメント期末残高が前期比 51.9%増、リテール向け融資は、総預金高に占める定期預金の割合が同 0.5 ポイント増の 12.3%となり、低所得者向けのマイクロクレジット融資が同 23.0%増、消費者向け融資が同 11.6%増と堅調だった。

貸出残高は前期比 12.8%増の 820 兆 840 億 IDR。大企業向けは融資先の業種多様化が進んでいる。リテール向けは、マイクロクレジットについて政府プログラム(KUR)が同 32.4%増で構成比 21.5%、給与ベース融資(KSM)が同 31.5%増で構成比 63.4%だった。消費者向け融資について自動車ローンが同 18.2%増で構成比 36.2%、クレジットカードが同 11.9%増で構成比 13.2%、住宅ローンが同 10.4%増で構成比 42.1%。オンライン融資が残高で同 372%増、フィー収入が同 361%増。プリペイドカードが残高で同 106%増。モバイルバンキングの取引額が 2018/12 期 4Q(10-12月)が前年同期比 59.3%で急拡大。同 4Q のグロスの不良債権率は 2.8%で前年同期の 3.5%から改善した。2018/12 末における「リスク融資」の融資全体に対する比率は 9.7%で前期の 10.9%から改善した。

### How do we view this ?

2019/12 通期の会社計画は、貸出残高が前期比 10.0-12.0%の伸び(前期は同 12.4%増)、純金利マージン(NIM)が 5.6%-5.8%(前期は同 5.74%増)、グロスの不良債権率が 2.5%-2.7%(前期は 2.75%)、クレジットのコストが 1.6%-1.8%(前期は 1.87%)と更なる改善を見込んでいる。同社は 2020 年に向けての 5 か年計画で、住宅ローン、自動車ローン、個人向けローンと KSM マイクロクレジットのセットの三点を成長分野と位置付けている。特に、個人向けローンと KSM マイクロクレジットを組み合わせたサービスには期待がかかる。2019/12 通期の市場予想は、当期利益が前期比 11.9%増の 28 兆 39 億 IDR である。

### 業績推移

※参考レート 1IDR=0.0077円

事業年度	2016/12	2017/12	2018/12	2019/12F	2020/12F
売上高(十億IDR)	95,919	98,981	106,318	91,019	99,808
純利益(十億IDR)	13,807	20,640	25,015	28,004	31,716
EPS(IDR)	295.86	442.28	536.04	599.63	681.24
PER(倍)	24.42	16.34	13.48	12.05	10.61
BPS(IDR)	3,224.01	3,572.55	3,882.91	4,233.75	4,653.42
PBR(倍)	2.24	2.02	1.86	1.71	1.55
配当(IDR)	133.13	199.03	-	239.10	271.23
配当利回り(%)	1.84	2.75	-	3.31	3.75

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

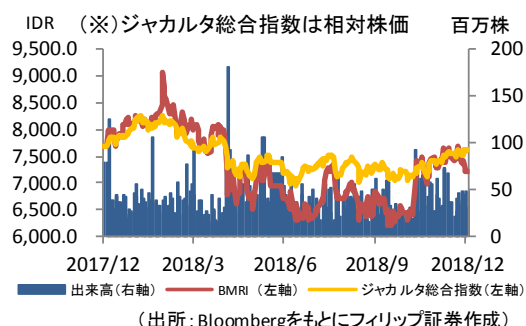
配当予想(IDR) **239.10** (予想はBloomberg)  
終値(IDR) **7,225** 2019/3/25

### 会社概要

アジア通貨危機時にインドネシア政府により実施された銀行再編計画の一環として設立。1999年にBank Bumi Daya、Bank Dagang Negara、Bank Exim、Bapindoの4つの政府系金融と統合した。現在でも、インドネシア政府が60%の筆頭株主である。同社は、コーポレートバンキング、コマース&ビジネスバンキング、マイクロ&リテールバンキング、トレジャリー&国際金融、消費者金融の5つの戦略的事業ユニットを展開。投資銀行のMandiri Sekuritas、保険会社のAXA Mandiri Financial Services、イスラム銀行のSyariah Mandiri bank、マイクロバンキングを行うBank Sinar Harapan Bali、マルチファイナンス事業を行うMandiri Tunas Financeなどの子会社がある。2011年にはAXA Societe AnonymeとのジョイントベンチャーであるMandiri AXA General Insurance (MAGI)を買収し、損害保険事業を強化した。

### 企業データ(2019/3/26)

ベータ値	1.46
時価総額(十億IDR)	337,167
企業価値=EV(十億IDR)	-
3ヵ月平均売買代金(十億IDR)	365.6



### 主要株主(2019/3)

1.インドネシア共和国	60.00
2.ハリス・アソシエイツ	2.69
3.ブラックロック	2.25

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### アナリスト

笹木 和弘  
togo.masubuchi@phillip.co.jp  
+81 3 3666 6980  
増淵 透吾  
togo.masubuchi@phillip.co.jp  
+81 3 3666 0707

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>